



## 2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月10日

上場会社名 JALCOホールディングス株式会社  
 コード番号 6625 URL <http://www.jalco-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田辺 順一

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 松島 正道

TEL 050-5536-9824

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	274	223.9	148		92		91	75.6
2018年3月期第1四半期	84	22.9	1		18		373	567.6

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 96百万円 (73.9%) 2018年3月期第1四半期 370百万円 (635.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	1.74	1.70
2018年3月期第1四半期	7.66	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	16,014	4,127	25.7	77.17
2018年3月期	14,280	3,894	27.2	74.45

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 4,119百万円 2018年3月期 3,884百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		0.00	0.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	470	155.0	260		140		120	67.4	2.30
通期	1,050	89.9	610	269.3	420	1,069.5	340	17.1	6.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 有  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	53,381,632 株	2018年3月期	52,181,632 株
期末自己株式数	2019年3月期1Q	428 株	2018年3月期	428 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	52,546,039 株	2018年3月期1Q	48,706,184 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2億74百万円（前年同期比223.9%増）、営業利益1億48百万円（前年同期は1百万円の営業損失）、経常利益92百万円（前年同期は18百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益91百万円（前年同期比75.6%減）となりました。

貸金業におきましては、当第1四半期連結会計期間末の貸出金残高が36億35百万円（前期末比109.6%増）となりました。

不動産賃貸事業におきましては、当第1四半期連結会計期間において新たな取得はございませんでした。

当第1四半期連結累計期間の売上高については、貸出金利息が前年同期比179.6%増加し、不動産賃貸収入が同257.4%増加したため、売上高は合計で前年同期比223.9%増となりました。

不動産賃貸事業の増加に伴い減価償却費が増加したことにより、売上原価は前年同期比で597.3%増となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益は1億48百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の経常損益についても不動産投資残高の増加に伴う長期債務の増加により、支払利息が増加しましたが、92百万円の経常利益となっております。

法人税、住民税及び事業税18百万円、法人税等調整額△17百万円等を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は91百万円となりました。

### [セグメント情報]

詳細は、9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」のとおりですが、主たる報告セグメントの業績は次のとおりであります。

また、前第3四半期連結会計期間より、各報告セグメントの実態をより的確に把握するため、全社と各報告セグメントの測定方法の見直しを行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法で作成しております。

#### (貸金事業)

当事業部門におきましては、収益性、回収可能性等を慎重に吟味した上で、新規の取組みを行っており、売上高は99百万円（前年同期比179.6%増）、セグメント利益は72百万円（前年同期比144.1%増）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当事業部門におきましては、前年度に新規取引を開始したことにより、売上高は1億74百万円（前年同期比257.4%増）、セグメント利益は81百万円（前年同期比782.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して16億89百万円増加し、43億60百万円となりました。これは主に、営業貸付金19億円が増加した一方で現金及び預金1億68百万円、売掛金21百万円がそれぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して44百万円増加し116億53百万円となりました。これは主に、長期前払費用が41百万円増加したことなどによります。

以上により、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して17億33百万円増加し、160億14百万円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して21億28百万円減少し、11億6百万円となりました。これは主に、短期借入金を長期借入金に借り換えたことなどにより短期借入金が26億90百万円減少した一方で、新たな短期借入金3億円及び社債2億円が増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して36億29百万円増加し107億80百万円となりました。これは主に、短期借入金からの借り換え及び新規借入で長期借入金が36億29百万円増加したことによります。

以上により、当第1四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比較して15億円増加し、118億87百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して2億33百万円増加し、41億27百万円となりました。これは主に、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金が合計で1億38百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益91百万円を計上したことなどによります。

なお、当社は、当第1四半期連結累計期間において欠損填補を行っております。詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)」をご覧ください。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想に関しましては、2018年5月11日発表「平成30年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	599,914	431,187
信託預金	141,487	143,557
営業貸付金	1,734,497	3,635,256
売掛金	21,600	—
未収入金	4,289	2,506
未収収益	5,790	35,795
未収消費税等	126,111	125,254
その他	48,272	8,354
貸倒引当金	△10,406	△21,085
流動資産合計	2,671,557	4,360,827
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	671,187	658,927
信託建物（純額）	934,495	924,986
工具、器具及び備品（純額）	4,987	4,543
土地	7,278,005	7,278,005
信託土地	2,401,791	2,401,791
有形固定資産合計	11,290,468	11,268,254
無形固定資産		
ソフトウェア	34,281	36,436
電話加入権	284	284
無形固定資産合計	34,565	36,720
投資その他の資産		
投資有価証券	190,272	195,557
破産更生債権等	174,803	174,803
長期未収入金	84,011	87,411
差入保証金	24,040	23,915
長期前払費用	15,606	57,219
繰延税金資産	31,845	49,666
その他	22,334	22,334
貸倒引当金	△258,815	△262,215
投資その他の資産合計	284,099	348,693
固定資産合計	11,609,133	11,653,669
資産合計	14,280,690	16,014,496

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	2,690,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	235,280	367,438
1年内償還予定の社債	—	200,000
未払法人税等	115,200	24,146
前受金	38,806	38,806
信託前受金	18,690	18,690
匿名組合預り金	106,460	105,541
その他	30,493	51,808
流動負債合計	3,234,931	1,106,430
固定負債		
長期借入金	6,790,476	10,419,546
長期預り保証金	254,098	254,098
信託預り保証金	106,592	106,592
その他	551	515
固定負債合計	7,151,719	10,780,753
負債合計	10,386,650	11,887,184
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,105,447	2,174,519
資本剰余金	4,157,999	3,338,753
利益剰余金	△2,362,260	△1,382,756
自己株式	△50	△50
株主資本合計	3,901,135	4,130,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,229	△10,943
その他の包括利益累計額合計	△16,229	△10,943
新株予約権	9,134	7,790
純資産合計	3,894,040	4,127,312
負債純資産合計	14,280,690	16,014,496

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	84,589	274,021
売上原価	6,546	45,649
売上総利益	78,043	228,371
販売費及び一般管理費	79,875	79,408
営業利益又は営業損失(△)	△1,831	148,963
営業外収益		
受取配当金	—	76
為替差益	—	3,400
受取賃貸料	1,671	1,732
貸倒引当金戻入額	5,150	—
その他	90	61
営業外収益合計	6,911	5,271
営業外費用		
支払利息	13,796	50,616
賃貸不動産経費	399	377
為替差損	150	—
借入手数料	5,024	7,171
その他	3,733	—
貸倒引当金繰入額	—	3,400
営業外費用合計	23,103	61,565
経常利益又は経常損失(△)	△18,023	92,669
特別利益		
固定資産売却益	532,915	—
特別利益合計	532,915	—
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	514,891	92,669
匿名組合損益分配額	1,226	1,049
税金等調整前四半期純利益	513,665	91,619
法人税、住民税及び事業税	77,977	18,254
法人税等調整額	62,624	△17,821
法人税等合計	140,601	433
四半期純利益	373,063	91,186
親会社株主に帰属する四半期純利益	373,063	91,186



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益	373,063	91,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,750	5,285
その他の包括利益合計	△2,750	5,285
四半期包括利益	370,313	96,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	370,313	96,472

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第2回新株予約権の権利行使による新株発行に伴い、当第1四半期連結累計期間において資本金が69,072千円、資本準備金が69,072千円それぞれ増加しました。

また、2018年6月27日開催の第7回定時株主総会の決議により、同日付で資本準備金を888,317千円減少し、その同額をその他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を888,317千円減少し、その同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が2,174,519千円、資本剰余金が3,338,753千円、利益剰余金が△1,382,756千円となっております。

(会計方針の変更)

(融資関連費用に関する会計処理)

金融機関等から資金調達をする際に前払いする融資関連費用につきましては、従来、発生事業年度の費用として処理しておりましたが、当社グループの事業において投資案件が大規模化していることに伴い、重要性が増してきている融資関連費用のうち実効金利の不可分の一部である手数料について、その経済的実態をより適正に期間損益に反映するため、当第1四半期連結会計期間より「投資その他の資産」の「長期前払費用」に計上し、借入期間にわたって利息法により費用認識する方法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	35,433	48,898	84,331	258	84,589	—	84,589
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	35,433	48,898	84,331	258	84,589	—	84,589
セグメント利益 又は損失(△)	29,534	9,216	38,750	258	39,009	△57,033	△18,023

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△57,033千円は、内部取引消去額20,941千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△77,974千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貸金事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	99,076	174,783	273,859	161	274,021	—	274,021
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	99,076	174,783	273,859	161	274,021	—	274,021
セグメント利益 又は損失(△)	72,098	81,331	153,430	△791	152,638	△59,969	92,669

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電子部品のブランド使用料並びに中古遊技機売買サイトに係るシステムの減価償却費及び運営費であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△59,969千円は、内部取引消去額5,818千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△65,787千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、各報告セグメントの実態をよりの確に把握するため、全社と各報告セグメントの測定方法の見直しを行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法で作成しております。